



豊岡市のブランドマークを決定 ～豊岡のイメージを届ける～

市では、豊岡市の特徴的な取組みがイメージでき、誰が見ても豊岡を識別できるようなブランドマークを作り、さまざまな媒体に使用することで、人に強い印象を与えるイメージ戦略に取り組む。

1. CI戦略の必要性

「豊岡エコバレー」と「大交流」を実現するためには、

- (1) 全国の人々に豊岡の取組みや特徴を知っていただき、豊岡を認知していただく必要がある。
- (2) 豊岡市が進もうとしている方向性を職員が絶えず意識する必要がある。
- (3) 同様に、市民の皆さんに知っていただく必要がある。

2. 豊岡市ブランドマークの選定経過

H21.12.17～H22.1.20	職員からブランドマークを募集（応募：13人、52点）
H22.2.4	情報戦略プロジェクトチームにより6点に絞込み
H22.2.18～25	職員による投票を実施
H22.3.31	投票結果を受けて、豊岡市ブランドマーク（ロゴ、マーク）決定

3. 豊岡市のブランドマーク（ロゴ、マーク）

(1) ロゴ



作者：^{たくち}田口 ^{まさとし}雅敏（豊岡市職員、出石総合支所市民福祉課）

文字の色は、アースカラー「空の青、山の緑、大地の色」にコウノトリの赤を加え、アンダーラインは海のブルーを表している。アルファベットの「O」＝「輪」とAを変形させたコウノトリとを同じラインに置くことで、市民とコウノトリの共生を象徴的に表現。



(2) マーク



作者：寺門 ^{てらかど} 孝之 ^{たかゆき}（画家、神戸芸術工科大学ビジュアルデザイン学科教授
東京都世田谷区在住）

昨年、豊岡エキシビションで使用したデザイン。左にいる生き物は、人を含む生き物全てのシンボル。コウノトリ、コウノトリが食べるドジョウ、すべての生き物が、一つの宇宙を現す円環の中で一直線上に並び、緊密な、親密な関係にあることを表している。

繊細で、可愛く、上品に。でも圧倒的に独自性・普遍性がある……。そんな豊岡の活動を連想していただく。

4. ブランドマークの使用

ブランドマークは、市が作成するさまざまなものに使用する。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| (1) プレゼンテーション資料 | (2) 名刺 |
| (3) ホームページ | (4) 広報「とよおか」 |
| (5) 対外的な文書 | (6) パンフレット、リーフレット |
| (7) 封筒 | (8) 看板 |
| (9) その他市が作成するもので、掲載が可能なもの | |

5. 実施時期

4月1日

〔問合せ〕豊岡市政策調整部秘書広報課 0796 - 23 - 1114